

Nondivergent rational bubbles in the Japanese stock market?

神戸大学大学院生 渡辺 寛之

本稿では Kamihigashi (2011)において検討された合理的バブルのモデルについて調べた。シミュレーションによって発生させたバブルの時系列特性を検証したところ、ある仮定の下ではバブルは発散的ではなく単位根をもっていた。またサンプルパスを確認したところバブルは拡大したあとに崩壊することが確認できた。

さらにこの種のバブルを含んだ株価をシミュレーションによって発生させその時系列特性を検証したところ、株価は単位根をもち、配当と共和分関係になく、株価に含まれたバブルの検出に適しているとされてきたマルコフスイッチ単位根検定でも株価に含まれたバブルはほとんど検出できないことがわかった。以上の特徴は Evans(1991)によって示された周期的に崩壊するバブルの特徴とは一どちらのバブルも崩壊しうるということを除いては一対照的である。

シミュレーション分析により得られた結果にもとづいて1990年前後の日本の株価について実証分析を行ったところ、1990年前後の株価の上昇と下落は合理的バブルの存在によって説明できることが示された。